

絵本の世界Ⅱ

科目ナンバリング EDU-126

選択 2単位

杉本 真理子・大貫 真寿美

1. 授業の概要(ねらい)

本科目は、前期開講「絵本の世界Ⅰ」に続き、認定絵本士資格取得のため、絵本に関する「知識を深める」「技能を高める」「感性を磨く」ことを目指します。本科目は「絵本の世界Ⅰ」と同様、絵本専門士委員会が定める「認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドライン」に基づいて設定されています。学内外の教員がオムニバスでそれぞれの専門に基づいた特色ある授業を展開します。

2. 授業の到達目標

認定絵本士としての知識を深め、技能を高め、感性を磨くこと。

具体的には、知識は、「絵本論」「絵本の体系・ジャンル」「絵本と出会う」の各授業で獲得する。

技能は、「絵本の世界を広げる技術」「絵本を紹介する技術」「おはなし会の手法」の各授業で獲得する。

感性は、「絵本が生まれる現場」「心の寄り添う絵本」等の各授業で培う。

これらを通して、将来、地域や職場で、絵本の魅力や可能性を伝え、大人も子どもも楽しめる絵本の輪を広げ、地域の読書活動を充実させる役割が実践できるような力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

各回の担当者が、その回の成績を10点満点で評価し、それを合計し100点満点に換算した上で、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

絵本士委員会独立行政法人国立青少年教育振興機構 認定絵本士養成講座テキスト 中央法規出版

5. 準備学修の内容

毎回、次回の講師から課題が出されます。また、授業後に課題提出が求められることもあります。

6. その他履修上の注意事項

本科目は、「認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドライン」により、「絵本の世界Ⅰ」を修得済みの学生のみが履修することができます。

また、ガイドラインにより、後期は2回の120分授業があります。

さらに、補講は対面で、第12回の後、続けて6時限目に実施します。

資格取得のために8割以上の出席が必要です。実習などの公欠には、補講で対応します。

授業に積極的に参加し、課題を提出してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 絵本各論②(大貫真寿美):視覚表現・言語表現から見た絵本
- 【第2回】 お話会の手法②(岡田たつみ):お話会のテクニック(120分授業)
- 【第3回】 絵本と出会う①(杉本真理子):初めての絵本との出会い
- 【第4回】 絵本各論③(杉本真理子):子供の知的・社会的発達と絵本との関り
- 【第5回】 絵本の世界を広げる技術②(大貫真寿美):ワークショップ
- 【第6回】 お話会の手法①(小山恵美子):お話会を開こう(120分授業)
- 【第7回】 心に寄り添う絵本(芦澤清音):心のケアと絵本の可能性
- 【第8回】 絵本が生まれる現場②(澤田精一):絵本の編集
- 【第9回】 絵本が生まれる現場①(ミノオカリヨウスケ):作家の感性に触れる
- 【第10回】 様々なジャンルの絵本②(森寛):昔話・童話をもとにした絵本
- 【第11回】 様々なジャンルの絵本③(森寛):科学絵本
- 【第12回】 絵本の持つ力(辻政博):様々な角度から絵本を見る
- 【第13回】 子供の心をとらえるもの(辻政博):子供の心をとらえて離さないもの(補講第12回の後に続けて6限に実施)
- 【第14回】 大人の心を豊かにする絵本(杉本真理子):人生で3度、絵本を手にする喜び、大人にこそ絵本を(120分授業)
- 【第15回】 まとめ(覆う気真寿美・杉本真理子):ディスカッションー認定絵本士としての今度の活動

授業の順序は、講師の都合によって変更することがあります。